

# Automation 360

## サービスに関する重要事項説明書

✓本書面は Automation 360 サービスのお申込みやご利用開始前にご留意頂きたい事項をご説明致します

✓なお、お申込み時には別途ご提示する利用規約一式を必ずご確認ください

### 1、ライセンス構成

Automation 360 ライセンスパックは以下の要素から構成されています。  
ライセンスパックそれぞれ利用できる機能が異なります。

| ライセンス                   | 用途                 | ベース<br>プラットフォーム |      | コンタクトセンター<br>ユーザー |      | ビジネスユーザー   |      | ボットランナー<br>パッケージ |      | コパイロットプラス  |      |
|-------------------------|--------------------|-----------------|------|-------------------|------|------------|------|------------------|------|------------|------|
|                         |                    | オン<br>プレミス      | クラウド | オン<br>プレミス        | クラウド | オン<br>プレミス | クラウド | オン<br>プレミス       | クラウド | オン<br>プレミス | クラウド |
| Control Room            | ロボットの管理、監視、展開を行う機能 | 2               |      | -                 |      | -          |      | -                |      | -          |      |
| Sandbox Control Room    | 新Ver1に移行する際の事前検証環境 | -               | 1    | -                 |      | -          |      | -                |      | -          |      |
| Bot Creator             | ロボットを開発するための機能     | 2               |      | 1                 |      | 10         |      | 1                |      | -          |      |
| Unattended Bot Runner   | ロボットを実行するための機能     | 2               |      | -                 |      | 1          |      | 1                |      | -          |      |
| Attended Bot Runner     | 手動でロボットを実行するための機能  | -               |      | 1                 |      | -          |      | -                |      | 1          |      |
| Co-Pilot/AARI (for Web) | プラグイン機能            | 10ユーザー          |      | -                 |      | 10ユーザー     |      | -                |      | 1          |      |

※ビジネスユーザー、ボットランナーパッケージ、コパイロットプラスは追加パッケージとなります。

※コンタクトセンターユーザーは 2024 年 5 月 18 日をもって新規販売停止となりました。

| ライセンス                                        | 用途                           | クラウドスターター<br>パック | スタンダード<br>パック |         | プレミアム<br>パック |         |
|----------------------------------------------|------------------------------|------------------|---------------|---------|--------------|---------|
|                                              |                              | クラウド             | オンプレ<br>ミス    | クラウド    | オンプレ<br>ミス   | クラウド    |
| Control Room                                 | ロボットの管理、監視、展開を行う機能           | 1                | 3             |         | 3            |         |
| Bot Creator                                  | ロボットを開発するための機能               | 1                | 3             |         | 10           |         |
| Unattended Bot Runner                        | ロボットを実行するための機能               | 1                | 3             |         | 7            |         |
| Attended Bot Runner                          | 手動でロボットを実行するための機能            | -                | 3             |         | 7            |         |
| High Availability /Disaster Recovery (HA/DR) | 機器障害や天災に備えた構成に対応するライセンス      | 構成に含まれる          | -             | 構成に含まれる | -            | 構成に含まれる |
| Bot Insight                                  | リアルタイムで RPA稼働分析を行うオプションライセンス | 1ユーザー            | 1ユーザー         |         | 3ユーザー        |         |
| AARI                                         | プラグイン機能                      | -                | -             |         | 10ユーザー       |         |

※クラウドスターターパック、スタンダードパック、プレミアムパックは 2022 年 5 月 11 日をもって新規販売停止となりました。

| ライセンス                                        | 用途                           | エントリー<br>パック |         | デジタルワークフォース<br>スターターキット |         | エンタープライズ<br>パック |         |
|----------------------------------------------|------------------------------|--------------|---------|-------------------------|---------|-----------------|---------|
|                                              |                              | オンプレ<br>ミス   | クラウド    | オンプレ<br>ミス              | クラウド    | オンプレ<br>ミス      | クラウド    |
| Control Room                                 | ロボットの管理、監視、展開を行う機能           | 1            |         | 3                       |         | 3               |         |
| Bot Creator                                  | ロボットを開発するための機能               | 3            |         | 3                       |         | 10              |         |
| Unattended Bot Runner                        | ロボットを実行するための機能               | 1            |         | 3                       |         | 5               |         |
| Attended Bot Runner                          | 手動でロボットを実行するための機能            | -            |         | 3                       |         | 5               |         |
| High Availability /Disaster Recovery (HA/DR) | 機器障害や天災に備えた構成に対応するライセンス      | -            | 構成に含まれる | 有<br>※初年度のみ             | 構成に含まれる | 有<br>※初年度のみ     | 構成に含まれる |
| Bot Insight                                  | リアルタイムで RPA稼働分析を行うオプションライセンス | 10ユーザー       |         | 10ユーザー                  |         | 10ユーザー          |         |
| IQ Bot                                       | 業務文書・帳票をデジタル化する機能            | -            |         | 20,000枚                 |         | 60,000枚         |         |
| AARI                                         | プラグイン機能                      | -            |         | -                       |         | 100ユーザー         |         |

※エントリーパックは 2021 年 6 月 30 日をもって新規販売停止となりました。

※デジタルワークフォーススターターキット、エンタープライズパックは 2022 年 1 月 31 日をもって新規販売停止となりました。

・当社が別途提供する Automation Anywhere ライセンス販売・オプションサービス利用規約で定義されるサービスを利用されるお客様は Automation Anywhere ポータルサイト（当社が提供する Automation Anywhere のサポートサイト）を利用できます。  
インストーラーやマニュアルを格納し、Automation Anywhere の利用方法に関する一般的なお問合せのメールサポートやバージョンアップ情報などのお知らせをします。

## 2、システム要件

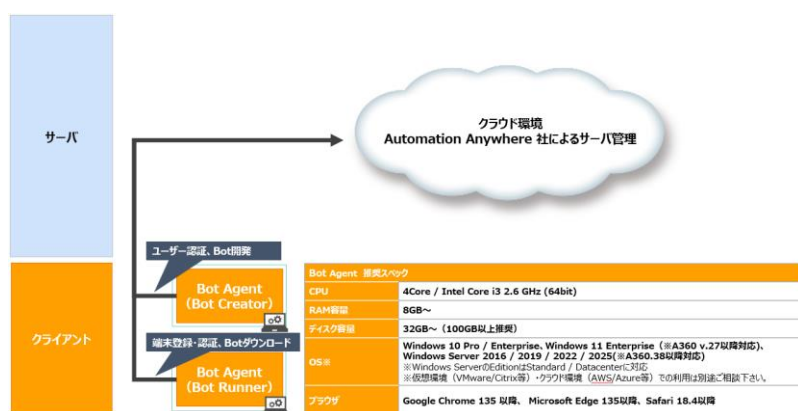
Automation 360 のシステム構成、推奨スペックは以下です。

### (1) 通常構成

#### ① オンプレミス版



#### ② クラウド版

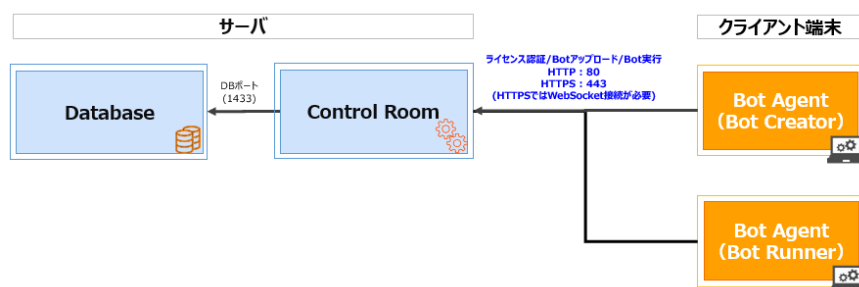


## 3、通信要件

Automation 360 のご利用にあたり、製品を構成するソフトウェア間で下図の通信が行えることが必要になります。

### (1) 通常構成

#### ① オンプレミス版

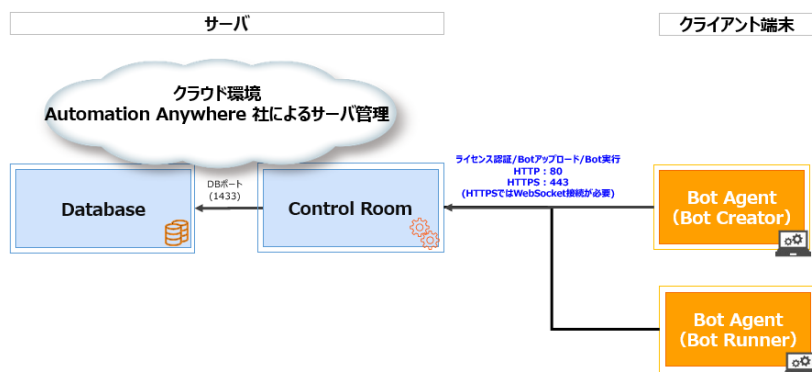


※図中の()内数字は通信先のポート番号です。(製品のデフォルト値; プロトコルはいずれも TCP)

※Bot Agent から各種システムと連携する場合、各種システムとの通信ポート開放が必要です。

※Control Room⇄Bot Agent 間はアクセストークンの通信が定期的に行われます。

## ②クラウド版



※Bot Agent から各種システムと連携する場合、各種システムとの通信ポート開放が必要です。

※Control Room⇄Bot Agent 間はアクセストークンの通信が定期的に行われます。

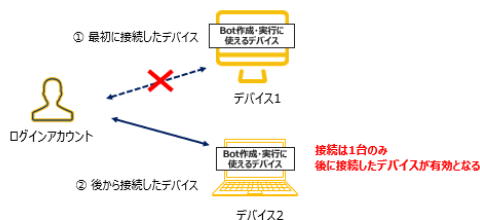
## 4、ライセンスの考え方

1つの Automation 360 アカウントに対して 1つの Bot Creator または Bot Runner のライセンスを紐づけることにより、ライセンスが有効となります。Bot 作成・実行に使えるデバイスは、1アカウントに対して1つのデバイスのみ接続可能です。

同じ Automation 360 アカウントにて異なるデバイスで接続した場合は、既存のデバイスのセッションが終了し、後で接続したデバイスのみ有効となります。

| ログインアカウント        | ライセンス                 | Bot 作成・実行に使えるデバイス |
|------------------|-----------------------|-------------------|
| login_account_01 | Bot Creator           | デバイス1             |
| login_account_02 | Bot Creator           | デバイス2             |
| login_account_03 | Unattended Bot Runner | デバイス3             |
| login_account_04 | -                     | -                 |

Automation 360 (旧称A2019) アカウントに対してライセンスは付与されます。デバイスは1つのアカウントに対して1台紐づきます。



1つのAutomation 360 (旧称A2019) アカウントは、どのデバイス/ブラウザからでも接続可能です。ただし有効となる接続は1台のみで、2台以上の接続が発生した場合は、後から接続したデバイスが有効になります。

## 5、契約、請求

ライセンスパックの契約期間・請求タイミングを以下に記載します。

|      | 1カ月目 | 2ヶ月目           | 3ヶ月目 | 4ヶ月目 | 5ヶ月目 | 6ヶ月目 | 7ヶ月目 | 8ヶ月目 | 9ヶ月目 | 10ヶ月目 | 11ヶ月目 | 12ヶ月目 | 13ヶ月目 | 14ヶ月目                  |
|------|------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|------------------------|
| 契約期間 |      |                |      |      |      | 契約期間 |      |      |      |       |       |       |       |                        |
| 請求   |      | ○<br>請求書<br>発行 |      |      |      |      |      |      |      |       |       |       |       | ○<br>次年度分<br>請求書<br>発行 |

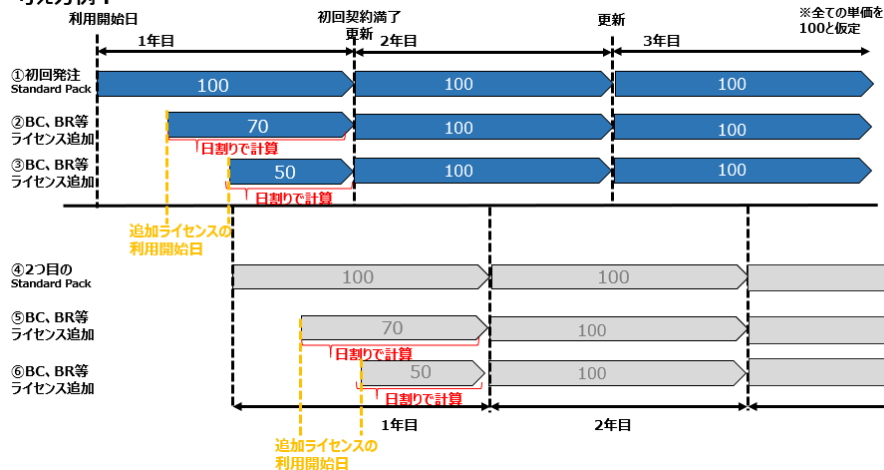
### 請求について

契約開始と契約更新月の翌月に請求書を発行いたします。

## 6、追加ライセンスについて

導入済お客様が追加でライセンスを購入する場合、追加ライセンスの利用開始日から追加先となる契約の満了日までの日割り計算で価格が定められます。

#### 考え方例：



## 7、キャンセル・日程変更について

お申し込み後に、お客様都合でサービスのキャンセルをされる場合、お客様より以下のキャンセル料をいただきます。（初期設定サービス、開発スキルトレーニング、開発支援サービス、業務選定支援サービス、業務フロー書き方講座）

- (1) サービス実施予定日の 6 営業日前まで…なし
- (2) サービス実施予定日の 5～2 営業日前まで…サービス料金の 50%
- (3) サービス実施予定日の前日・当日…サービス料金の 100%

・実施日確定後、実施日の 7 営業日前までにお客様が実施日の変更を申し出た場合、別に定めのない限り日程変更が 1 回まで可能です。

・営業担当者・講師またはエンジニアの出張を伴う解約、日程変更に関してはキャンセル料に加え、交通費、宿泊費、会場等キャンセル料（手数料を含む）、制作済み教材費等の本サービス準備費、見積書に記載された企画準備費、利用機材の配送料、その他発生するすべての実費相当額をいただきます。

以上